

## 平成 28 年度 第 3 回 ファシリテーター養成研修 報告書

### 1. 概要

多職種間の相互理解や合意形成の支援手法について学び、会議や研修時のグループワーク等においてファシリテーターを担えるようになる。(第 3 回)

### 2. 研修内容

|     |  |
|-----|--|
| 研修名 | ファシリテーター養成研修 (第 3 回)   |
| テーマ | 会議や研修において役割を期待されているファシリテーターの養成                                   |
| 日時  | 平成 29 年 1 月 11 日水曜日 午後 1 時 00 分から午後 5 時 00 分                     |
| 場所  | 八王子労政会館 第 1 会議室  |
| 講師  | 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事 主任研究員 國光登志子 氏                               |
| 参加者 | 高齢者あんしん相談センター職員 3 名 (2 事業所)<br>居宅介護支援事業所職員 36 名 (32 事業所) 合計 39 名 |

### 3. 参加者アンケート調査 結果 (回収数 28 名)

#### (1) ファシリテーターの役割についての理解は深まりましたか？

| 項目        | 回答   | 率     |
|-----------|------|-------|
| ① 深まった    | 21 名 | 67.7% |
| ② やや深まった  | 10 名 | 32.3% |
| ③ 深まっていない | 0 名  | 0.0%  |
| 無記載       | 0 名  | 0.0%  |

#### 「① 深まった」を選んだ理由

- ・ 会議・資源を適切にコントロールし、参加者の参加発言意欲を高め、より優れた会議盛夏を引き出す役割。
- ・ 介入のタイミング、役割の重要性を学ぶことができました。
- ・ 具体的な場面でどのように声がけするか理解できた。
- ・ 最初に他グループのロールプレイを見てから自分のグループに移ったので、やりやすかった。
- ・ 司会者 (CM) が言いづらい部分の後押しができる。解決の糸口となる。
- ・ 出席者全体の発言を促し、家族にも理解していただけるような介入が必要だと思った。難しい。
- ・ 全体を円滑に進めるためのきっかけを作るタイミングを学ぶことができました。
- ・ 他のグループの流れを観察することでグループ運営が少し上手にできそうだと思います。
- ・ 担当者会議の中に入り。タイミング良く適切な言葉を伝えることの大変さを感じた。
- ・ 別のグループのグループワークを見ることで、気づきがあった。
- ・ 本人や事業所の役割の立ち位置からの体験を聞くことで、どんな点に留意が必要なのかを再確認できた。
- ・ 役割分担がはっきりすることで意見が出やすくなった。

- ・ 理解は深まったが、その分大変さもわかった。

### 「② やや深まった」を選んだ理由

- ・ 介入のタイミングにより、会議の流れが変わることの重みを感じた。
- ・ 今回の研修はファシリテーターの役割というよりも、与えられた役割をどうこなしていくかで精一杯となった。ファシリテーター役の方の介入の仕方が勉強になった。
- ・ サービス担当者会議のファシリは介入が難しい。
- ・ 担当者会議ではひとりで司会・進行・書記役を担当しているが、職場の会議等で積極的にファシリテーター役を担ったり、必要性を感じてもらえるよう努力したい。
- ・ ファシリテーターの介入のタイミングを色々と学べました。
- ・ ファシリテーターの役割についてロールプレイを通して理解できました。
- ・ 福祉用具を選んだ。担当者会議の中で有効な発言を引き出せるよう、その立場に立ってみた。

### (2) 時間の流れや進行についてはいかがでしたか？

| 項 目        | 回 答  | 率     |
|------------|------|-------|
| ① ちょうどよかった | 29 名 | 93.5% |
| ② 早かった     | 2 名  | 6.5%  |
| ③ 遅かった     | 0 名  | 0.0%  |
| 無記載        | 0 名  | 0.0%  |

### (3) グループワークではどのような役割でしたか？

それぞれの役割を行ってみて、事例検討会におけるファシリテーターの役割が理解できましたか？

#### ①ファシリテーター

- ・ 介入のタイミング、どんな言葉をかけるか、何度やっても難しい。
- ・ 緊張している司会を第三者の目で見えて修正できたので、まとめやすかった。
- ・ それぞれの役割の振り返りも参考になりました。

#### ③書記

- ・ 客観的に各々の役割を見ることができた。今後の事例検討等で活かしていきたい。
- ・ できたと思う。より難しさを感じた。
- ・ ファシリテーター次第で参加者全員の共有意識が深まる。逆に言えばファシリテーター次第で冗長でまとまりのない結果にもなる。

#### ④司会者

- ・ 障害者に対しては、障害への理解を深めて、専門用語等に対しても、介入するタイミングを考えることが必要だと思った。
- ・ どこで声がけをしたら良いタイミングになるのかを学ぶことができた。
- ・ ファシリテーターとして会議の流れやつまずきに気づくことが重要であると改めて確認できた。

#### ⑤GW メンバー

- ・ いろいろな発言を司会者が整理し、ファシリテーターが確認フォローする両方の役割をケアマネジャーはしていくのだなと思います。
- ・ 介入の難しさを感じた。
- ・ 参加者として会議の流れをスムーズにするように協力することを心がける必要があると感じました。
- ・ 司会を助け、同じ方向を向くことができました。
- ・ 事前に資料があつてやりやすかったが、実際には CM が意見を引き出してもらうことになると思った。
- ・ 事前の打ち合わせによって課題が 1 つでも解決できる役割になっている。
- ・ 全体の流れを掴むことが重要。
- ・ 引き出すのは難しい。
- ・ ファシリテーターの介入がターニング・ポイントになった。
- ・ 本人、家族など、介護の主となる方向性、特に本人の強さをしっかり理解していきたいと思います。
- ・ 本人役でしたが、良いタイミングで司会とファシリテーターが話を進めていったので、その関係が理解できた。
- ・ 役割は理解できたので、少しずつ実践したい。
- ・ 理解できた。
- ・ 理解はできたと思うが、実践できるかは自信ないです。
- ・ 利用者自身の聞いてもらった感。

#### (5) 先生に質問・確認したいことがありますか？

- ・ ありがとうございます。
- ・ 全盲の方の対応の仕方です工夫する部分と、ご本人にしっかりと理解していただく上でのポイントを教えていただければと思います。

#### (6) その他ご意見等、ご自由にお書きください

- ・ 3 回シリーズで受講いたしまして全体を見渡せる能力を養いたかったです。
- ・ ありがとうございます。
- ・ サービス担当者会議では、本人・家族の心の動きが大切にされてはじめて方向性がはっきりした担当者のグループが育つんだなと思いました。
- ・ 障害についての理解が必要だと思いました。

- ・ 事例を提出して下さった辻田 CM さんありがとうございました。視覚障害者の方への配慮について難しさや必要性を感じました。

